

◆ ImageKit.NET3 – ImageKit.NET2 からのおもな変更点

\* ImageKit.NET2 からの移行のために、おもな変更点を記載したものです。

\* 廃止や名称変更したほとんどのプロパティ・メソッドはエラー回避のために残してあります。廃止したものについては機能は無効となっています。名称変更したものについては、互換性の為に旧名称でも機能するようにはしてありますが、極力新名称をお使いください。

\* 廃止や名称変更したものについては、インテリセンスには表示されません。

◆ ImageKit コントロール

名称	変更内容など
ImageKit.Win.ImageKit	
● 廃止されたもの	
・プロパティ	
Refine1BitImage, RefineColorImage	縮小時は常に自動的に高精細表示となりますので、これらのプロパティは廃止しました。
ToolBar	新たに4種類のツールバーを独立したコントロールとして保有しており、ImageKit コントロールとの関連付けもツールバー側の設定のみで行えるため、当プロパティは不要となりました。
● 変更されたもの	
・メソッド	
Display	DisplayMode プロパティが追加されましたので、表示モードはそちらで設定し、当メソッドは引数なしとなりました。
ImageKit.Win.ImageKit.Edit	
● 廃止されたもの	
・プロパティ	
EnableTextDialog	プロパティダイアログは全オブジェクト共通ではなく、単独選択したオブジェクトの種類ごとに特化したプロパティダイアログが表示されますので、当プロパティは不要です。
TextDialog~Visible, TextDialog~Enabled	テキストオブジェクト専用ダイアログ用のプロパティとなりますので、不要となります。これらに替わりプロパティダイアログの各項目の表示/非表示、有効/無効を設定するための「Dialog~Visible」「Dialog~Enabled」プロパティが用意されています。
・メソッド	
DeleteMultiSelectedObjects	DeleteSelectedObjects メソッドに統一されました。これにより選択されているオブジェクトが、単独選択でも範囲選択でも共通して DeleteSelectedObjects メソッドで削除します。
SetSelectedObject~	SelectedObject~ プロパティで設定も可能となりましたので、これらのメソッドではなく、プロパティで設定します。
● 変更されたもの	
・プロパティ	
EditEnable	名称が「EditEnabled」に変更されました。（EditEnable も互換性のために残してありエラーにはなりません。
FontSize	単位が Point から Pixel に変更されました。
SelectedObject~	取得のみではなく、設定も可能となりました。

SelectedObjectDrawPoints	型が List<Point> から Point[] に変更されました。 ※当プロパティは、前バージョンからの完全変更となっており、使用コードの一部は変更が必要となる場合がございますのでご注意ください。
・メソッド	
PasteCopiedObjects	PastePoint プロパティが追加されましたので、貼りつける座標はそちらで設定し、当メソッドは引数なしとなりました。
ImageKit.Win.ImageKit.Effect	
● 変更されたもの	
・メソッド	
Chroma	名称が「SetChroma」に変更されました。
RedEyeRemoval	名称が「RemoveRedEye」に変更されました。
Rotation	名称が「Rotate」に変更されました。
Sharp	名称が「Sharpen」に変更されました。
ImageKit.Win.ImageKit.File	
● 廃止されたもの	
・プロパティ	
TiffAppend	マルチ Tiff の処理専用のメソッド（「AppendTiffImage」「InsertPageIntoMultipageTiff」「DeletePageFromMultipageTiff」）が追加されましたので、当プロパティは使用しません。
・メソッド	
CloseMultiTiff	マルチ Tiff の処理専用のメソッド（「AppendTiffImage」「InsertPageIntoMultipageTiff」「DeletePageFromMultipageTiff」）が追加されましたので、当メソッドは不要となりました。
● 変更されたもの	
・メソッド	
LoadImageFromFile, LoadImageFromRawData	LoadFileType はすべて自動判別となり、当メソッドは引数なしとなりました。

#### ◆ クラスライブラリ

名称	変更内容など
ImageKit.Win.Effect	
● 変更されたもの	
・メソッド	
Chroma	名称が「SetChroma」に変更されました。
RedEyeRemoval	名称が「RemoveRedEye」に変更されました。
Rotation	名称が「Rotate」に変更されました。
Sharp	名称が「Sharpen」に変更されました。
ImageKit.Win.File	
● 廃止されたもの	
・プロパティ	
TiffAppend	マルチ Tiff の処理専用のメソッド（「AppendTiffImage」「InsertPageIntoMultipageTiff」「DeletePageFromMultipageTiff」）が追加されましたので、当プロパティは使用しません。

・メソッド	
CloseMultiTiff	マルチ Tiff の処理専用のメソッド（「AppendTiffImage」「InsertPageIntoMultipageTiff」「DeletePageFromMultipageTiff」）が追加されましたので、当メソッドは不要となりました。
● 変更されたもの	
・メソッド	
LoadImageFromFile, LoadImageFromRawData	LoadFileType はすべて自動判別となり、当メソッドは引数なしとなりました。